

<学年テーマ（目指す子ども像）>

新たな自分の考えを見つけよう！  
～友達と考えを伝え合う活動を通して～

授業実践

# 道徳科

4-1 「絵はがきと切手」

7/7(火)実施

テーマ 友達を大切にするってどういうことだろう？

問い 転校した友達の正子さんから、料金不足の絵はがきが届いた時、あなたは正子さんに料金不足の事実を伝えるか伝えないか？



自分の立場をネームプレートで明示して話し合い

伝えない



伝える

話し合い後、立場が少しでも変化した児童は色を変えてプレートを貼り直しました。



伝える派の根拠（一部抜粋）

- 正子さんが同じミスをもう一度しないように。
- 次正子さんからもらう人がいやな気持ちにならないように。

【まとめ】

この後、友達を大切にするということは、どんな行動を選択するかではなく、相手のことを第一に考えることだというまとめにつなげました。

授業を終えた後、子どもの記述を見ると、話し合いを通して、立場が変化した児童は36名中7名いました。また、立場は変わらなくても、始めより根拠が増えた児童は25名いました。この結果から、多くの児童が話し合いを通して自分の考えを広げたり深めたりすることができたと考えます。

伝えない派の根拠（一部抜粋）

- 正子さんに間違いを指摘して嫌われたくない。
- 正子さんが次日も同じ過ちをすることは限らない。

# 国語科

4-2

「ごんぎつね」

12/3(金)実施

問い このお話を通して、作者はどんなことを伝えたかったのか、考えよう。

① 話を読んで、自分の考えを書きました。

- 相手の気持ちをくみ取ることが大切だ。（兵十がごんを殺してから、その償いに気付いたから。）



③ 伝え合ったことを基に、もう一度自分の考えをまとめました。

- 相手の気持ちをくみ取ることができなくても、まずは相手に対してやれることをやった方がよい。（気持ちをくみ取るためには、言葉や行動に表さないと、わからないから。）

児童の記述より抜粋



② 伝えたいことを色別の付箋に分けて、友達の考えに対する意見を書きました。

【まとめ】

自分の考えを伝えることで、共感してもらえたり、同じ考えをもつ児童から、異なる根拠を発見したりすることができていました。また、自分には思い付かなかった考えを聞き、同じ作品でも、いろいろな考え方がないと気付くことができました。

対話を通して、同じ考えをもつ児童が、その根拠を増やすなど、考えを深めることができました。

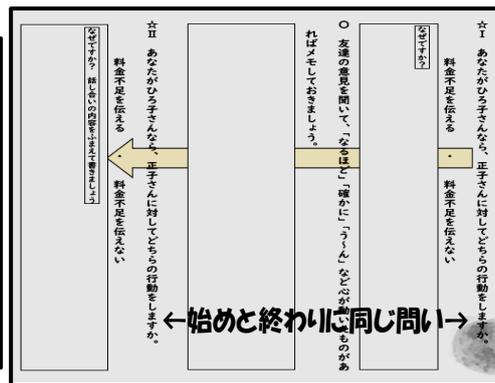
## 日常実践



<朝のスピーチ>



<目標の掲示と活用>



<ワークシートの工夫>

## 終わりに

### 【児童へのアンケート結果】

		4月(人)	1月(人)
○ 話し合いで自分の考えを進んで伝えることができるか	できる	32	38(+6)
	少しできる	21	24(+3)
	あまりできない	16	8(-8)
	できない	2	1(-1)

		4月(人)	1月(人)
○ 話し合いで友達の考えを自分の考えと比べながら聞くことができるか	できる	34	48(+14)
	少しできる	29	15(-14)
	あまりできない	7	8(+1)
	できない	1	0(-1)

		4月(人)	1月(人)
○ 話し合いの前後で自分の考えが増えたり変わったりすることがあるか	ある	31	43(+12)
	少しある	26	20(-6)
	あまりない	11	7(-4)
	ない	3	1(-2)

### 【考察とまとめ】

児童アンケート結果を見ると、全般的に話し合いに関する技能の高まりが見られた。話し合いの場を様々な場面で設定することに加えて、話し合いの際に掲示物でポイントを意識させることや、ワークシートを工夫して自分の思考の変化を意識できるようにしたことも一因だと考える。

また、子どもの自由記述には、「自分以外の意見を聞くのは楽しいことだと思った」「自分の意見が採用されてうれしかった」「自分の考えを伝えることに自信が付いた」などの感想が見られた。自分の考えの幅が広がることや自分の意見が認められることの喜びを味わうことで、話し合いの意欲の向上や自信につながるということが分かった。その反面、「1学期と変わらない。話し合いは苦手だ」と書いた児童もいた。こうした話し合いに前向きになれない児童へのサポートは、今後の課題と言える。